

冬の梅あたりはらって咲きにけり 小林一茶

大寒を過ぎましたが毎日寒い日が続いています。とは言え2月に入りもうじき立春を迎えます。どんなに寒さが厳しくても、温かい春は間近にせまっています。希望を持って進んでいきたいものです。さて、昨年度は新型インフルエンザが流行し多くの学校で学級閉鎖が行われました。本年度は、季節性インフルエンザの流行の兆しがありますが、本校ではまだ流行にはいたっていません。予防の基本である、うがいと手洗いの励行、部屋の湿度管理（50～60%）と換気などに気を配っていきたいと思います。毘沙門天の初寅祭が近づく頃が一年で一番寒い時期と言われています。偏食せず、温かいバランスの取れた食事をし、体力をつけてほしいものです。

三年生にとっては、これからが入試の山場です。努力の積み重ねが最後に福の神を呼ぶのです。くれぐれも、風邪などひかないようにして努力を重ねてください。

基礎学力定着に向けて工夫・改善を行っています

本校では、生徒の表現力やコミュニケーション能力の向上を通して「できた、わかったを実感させる授業」「授業に興味を持てるような工夫」などをポイントとして授業改善を進めることにしています。そのために研究主題を「自ら学びを追求する生徒の育成～相手を意識した表現力の向上を通して～」とし、次のような取組を進めています。



教員5人程度の小グループにより、授業を公開し参観した後、研究協議を行う。

6月に校内授業研究会、10月に公開授業研究会を開催し、研究協議を行う。（6月校内授業研究会）
大学より研究アドバイザーとして講師、教育委員会より指導主事を招聘し助言を受ける。

相手を意識した表現力の向上を目指した授業を創造する。

- ・有効なコミュニケーションをさせるため「自分の考えを持つ」活動を取り入れる。
- ・一人ひとりの学びをつくるために、小グループの活動を活用する。
- ・学びの質を高めるために、自分の考えを表現し仲間と共有させる。
- ・活用・探究型の授業づくりとのバランスをとりながら、その基盤となる授業規律の確立や習得型学力の定着を図る。

インフルエンザの流行が懸念されます。基本的な感染予防「うがい・手洗い・せきエチケット」など、各ご家庭でも指導をよろしくお願いします。